



校長室より



令和5年7月26日

No.8

コロナが5類に移行後、初めての夏休みとなりました。記録的な暑さが続いていますので体調管理が心配されます。本校は登校日を4日、設定していますが、この夏休みを有意義に計画的に過ごしてほしいと思っています。

夏休み期間の学校では、6月2日の台風2号接近による大雨で雨漏りした玄関天井の修繕工事が行われています。開校44年目の学校ですので、いろいろメンテナンスが必要ですね。

夏休み期間は、教職員の各種研修が実施されています。7月21日(金)は、防災シミュレーション研修が炎天下の中で行われました。本校では、南海トラフ巨大地震の有事の際、安全対策を講じることは喫緊の課題です。一次避難後、場合によっては、病院屋上で待機する必要もあり、今回の研修では、暑さや雨等を想定しながら、ブルーシートを活用して、日差しや雨をしのげるかを全教職員で研修しました。屋上には、傾斜もあれば雨水を通す溝もあります。パイプがあったり柵があったり、室外機もあったりします。3グループに分かれて、安全な場所を探しながら、雨除けを完成させました。やってみて、どんな物があればよりよいものを作れるかなど協議を行いました。

7月25日(火)には、教育と福祉の連携協議会が、本校で開催されました。支援を必要とする子供たちを地域で支えていくためには、教育と福祉の連携がとても重要です。御坊市・日高郡の幼稚園、保育所、こども園、小・中・高等学校の教職員、教育委員会や保健所、福祉関係事業所等の方たちと一緒に研修を行いました。今年は、和歌山大学の古井克憲先生を講師として、意思決定支援について講義を受けた後、グループ協議を行いました。子供たちの成長過程の中で、本人が何を言いたいのかを大切に、自己選択・自己決定できるように支援をしていくことを確認しました。

